

ハーバード・ビジネス・スクールが JINS を訪問。 世界中から集まった MBA 学生 45 名が、 日本発のイノベーションを学ぶ！

株式会社ジンズホールディングス（以下 JINS）は、米国ハーバード・ビジネス・スクール（以下 HBS）が実施する、世界各地のビジネスの現場を学ぶ短期フィールドプログラム「Immersive Field Course」（以下 IFC）の日本プログラム「JAPAN IFC」において、MBA2 年生に体験学習の機会を提供しました。「JAPAN IFC」はビジネスの現場を実践的に学ぶもので、JINS は日本発のグローバルブランドへの成長や独自のイノベーションによる市場の創造などを対談形式で紹介しました。



“日本のイノベーションを理解する企業として示唆に富んでいる”と JINS への訪問が実現

「JAPAN IFC」は 2012 年より HBS が開催している、MBA2 年生向けの選択科目です。世界各地のビジネスの現場を学ぶことを目的に、日本のイノベーションや経営を実践的に学んでいます。

今回、2026 年のプログラムの一環で、2026 年 1 月 8 日（木）に JINS への訪問が実現。HBS は、JINS を訪問先に選定した理由として『学生たちが関心を寄せている日本のイノベーション・エコシステムを実践的に理解する上で非常に示唆に富んでおり、IFC の目的である“実践を通じた学び”に適している』という点を挙げています。また『既存の前提を問い直し、壊し、組み替えることでグローバル展開もしながら成長してきた JINS から、単に日本企業の事例を学ぶことなく、変化が前提となる環境のなかで、経営者や組織が何を守り、何を变え、どのように行動しているのかを、日本の現場の言葉と空気感から理解する機会ととらえた。卒業を今年 6 月に控える学生一人ひとりが自らのリーダーシップやキャリアを考えるための出発点になることを期待する』と期待も寄せています。

当日は、「JAPAN IFC」を担当する天野友道氏（ハーバード・ビジネス・スクール助教授）と田中仁（ジンズホールディングス代表取締役会長 CEO）、田中亮（ジンズホールディングス代表取締役社長 COO）が対談。日本企業の長期志向、市場変化への対応やリスクテイクとの両立、新しい価値を生み出し続ける源泉、グローバル展開における変革など、学生が JINS に関心を寄せるテーマに沿って展開。世界中から集まった 45 名の MBA 学生との対話は、JINS が培ってきたイノベーションの価値を再発見する機会となりました。

JINS はこれからも、イノベーションによって日本から世界へ新たな価値を届け続けていきます。